

委員会レポート

文教厚生

一般会計補正

教育部

子育て支援課 大津保育園関係

Q 新しい園舎はいつから使用しているか。

A 8月末に園庭部分の完了検査が終わり、9月1日から15名の児童が入所し、新しい園舎では、年長組の保育をしている。

Q 園舎を増設したので、子どもの遊ぶ場所がなくなったのではないか。

A 園庭の部分が3分の1になったが、そこに遊具を設置した。南側のグラウンドには遊具を設置しないで、子どもたちが広く利用できるように思っている。

学校教育課関係

Q 大津小学校に配置する校内安全指導員の仕事は何か。また消耗品の使い途は？ 緊急雇用創出事業で配置するなら6ヶ月間計画的に作業を行ってもらい、その成果が現れるようにしてもらいたい。

A 大津小学校は、30学級を越える過大規模校であり、児童数が多いため、午前の時間は校務員と一緒に給食の配膳準備を中心にした仕事を考えている。午後の時間は、環境整備等に当たってもらう。学校でも計画を立ててもらって効率的に作業が行えるようにしたい。消耗品については、業務に必要な作業服や作業道具等を購入する予定である。

生涯学習課関係

Q 町文化財指定をされた梅の造花について、予算計上、阿蘇くまもと空港に寄贈された分の説明板が読めないような状態、また、材料調達等の考え方について。

A 空港に寄贈した分については、調査し対応する。保存会と話し合いながら、どのような予算が必要なのか対応する。現在台湾から調達している花卉の材料を確保できるように取り組んでいる。

23年度介護保険

Q 繰越金があるというのは、余裕があるということか。次期計画で介護保険料が上昇する事はできれば避けたい。

A 第4期介護保険計画上で見込んだほど給付費は伸びていないので、21、22年は余裕があった。繰越金から清算による返還金等を差し引いた半分の2千万円程を基金に積みみたいと考えている。これは第5期計画で保険料を引き下げる計算に使う。



大津保育園 増設園舎

22年度 一般会計認定

福祉部

保健医療課関係

Q 100歳をお祝いする敬老祝い金の支給はどのようにしているか。

A 4月～8月にかけて100歳になられた方は、随時、町長がお祝い金をお渡ししている。9月から3月にかけて100歳になられる方は9月末に国の内閣総理大臣表彰状と一緒に町のお祝い金をお渡ししている。

図書館関係

Q 移動図書館の利用状況はどうなっているか。

A 火曜、木曜に定期運行を行い、21ヶ所を2週間に一回回っている。年間1万1183冊貸出を行っており、21年度より1500冊程伸びている。22年度はイベントや学童保育、養護学校などへの運行を行い、貸し出し冊数の伸びにつながったと思われる。

生涯学習課関係

Q 文化財学習センターの展示品について活用計画はどうなっているか。

A 学校の学習見学の推進と合わせて一般見学者を増やすために親子文化財学習教室の計画等を検討している。

子育て支援課

Q ファミリー・サポート・センター事業の預かり時間と、協力会員のさんの問題は発生していないか。

A 月曜～金曜までの午前7時から午後8時迄と、別料金設定で土日、祝日も預かっている。協力会員の自宅で預かっているため、テレビが壊れた事もあったが、

22年度 決算審査

文教厚生



太陽光発電設備工事

1018万円

子育て・健診センター屋上に設置。太陽光パネル96枚（3列）・パワーコンディショナー10kW

子育てサポート事業

596万円

アドバイザー1名、サブリーダー4名を配置し、利用料金の半額を町が助成する。会員研修会の実施。依頼会員の児童を協力会員が有料で預かる。

利用料金は1時間600円（内半額町助成）



大津小学校分離新設校一次造成工事

3659万円

大津小学校区内の児童数が過大規模校（30クラス以上）となるために分離校を建設。

国民健康保険健診事業（人間ドック）

1723万円

大津町国民健康保険被保険者の疾病の早期発見、早期治療を図り、被保険者の健康管理に寄与すると共に医療費の抑制を目的とする。

学習・特別支援指導員雇用事業

2951万円

学習支援指導員（教諭資格者）を小中学校8校に13名を配置した。特別支援教室設置校及び特別支援の必要がある該当校に7月までに9名、9月から7名の特別支援補助員を配置した。



生涯学習センター・トイレ改修工事（光をそそぐ交付金事業）

498万円

- ・1、2階（多目的：男女）トイレ便器取替え、配水管布設替え・床塩ビシート張り
- ・洗面・入り口壁・ブース内装



委員会レポート

経済建設

大津町ビジターセンター条例の制定

Q JR南口駅の改札業務は直営でやっているのか。

A 町がシルバー人材センターに委託し、観光案内業務は3月まで緊急雇用を活用し2名の臨時職員を直接雇用する予定である。

Q 売店の出店は考えていないのか。

A 10月から3月まで案内人を直接雇用してセンター利用者の意見、ニーズなどを調査したい。維持管理費用も必要なので土産品等を含め置ける。



ビジターセンター

ばと思う。

一般会計補正

Q 旧57号線街路照明灯に関して、電柱に取り付ける照明と専用の電柱に取り付ける自立式の2方式がある。それぞれの単価はいくらか。

A 電柱用が約62万円で、自立式が電柱込みで約85万円である。

Q 自立式を建てる所は道路敷きか、民地か。

A 民地である。無償で貸与するという承諾をもらっている。なお地主の要望等で支障がでた場合は町の負担で移設する。

Q 電球の寿命は6万時間ということだが、保証はどれくらいまであるのか。

A 寿命が6万時間であるのでそれなりの保証はついている。

Q 点灯時間は何時から何時までか。

A 防犯灯を兼ねているので日暮から夜明け前までである。中心部は本数が多いので深夜はタ

イマーを付けて間引き点灯の計画である。

Q 災害で町道は公共災害、林道は林道災害、農道は農道災害となっているが、里道災害の場合はどうなるのか。

A 里道の場合は補助がないので町の一般財源等に対応する。



清正公道公園横の里道

22年度決算認定

Q 水田湛水事業は今後継続されるのか。

A 熊本市と協定を締結して事業が実施されており今後も継続される見込みであり、当町においては291戸の農家が毎年約3千万円弱の補助を受けている。

Q 小さな公園管理は小規模な業者でも対応

できると思うが、どう考えているのか。

A 小規模工事契約希望者登録要綱が7月に整理されており、総務課管財係と打合せながら対応の検討をしていきたい。

Q 土地改良事業補助金で要望されたことが満たされているのか。

A 要望された事業については概ね満たされていると思う。今年度は少し要望箇所が多くなった。

Q 駅前楽善線の用地交渉の進捗状況と、来年24年度以降完成までの事業費はどれくらい必要か。

A いま現在で34件の買収が済んでいない。



駅前楽善線

23年度でまちづくり交付金は終了するが、その時点で必要とされる残りの事業費は約10億円であり、24年度から社会資本整備総合交付金事業として申請し、国、県で認められたら4億円の補助金が交付され、町の持ち出しは約6億円ということになる。

公共下水道決算認定

Q 下水道整備計画区域と整備済区域の差が300haほどあるが、この区域か。

A 森、吹田、大林、瀬田の4地区である。陣内にある下水道浄化センターには浄化能力に余裕がある。この4地区を農業集落排水事業地区から公共下水道整備地区へ変更したものである。

22年度 決算審査 経済建設

公園管理委託及び整備事業

4260万円



利用者が安全に利用できるように、町立公園と児童公園などの除草、剪定清掃、改修、修理などを行う。

ごみ収集運搬業務委託事業

6590万円



家庭から排出される一般廃棄物の円滑な収集運搬業務が実施され、生活環境の向上及び再生資源のリサイクル推進に寄与した。実績5758トン。

三吉原北出口線道路改良事業

2320万円



朝夕の渋滞緩和対策として路線毎に左折車線を増やして、更に右折車線の延長を長くして交差点内の車両がスムーズに通過するようにした。

陽の原キャンプ場整備事業

550万円



弥護山自然公園の中で自然に親しみながら自然から学ぶことのできる教育キャンプ場として設置し、家族連れや団体等が自然と触れ合う場を提供している。



団地の入居者より階段手すり設置について要望があり、高齢者や障害者などの助けになる手すりを設置した。

**あけぼの団地
整備事業
1730万円**

委員会レポート

総務

大津町税条例の一部を改正する条例について

原案可決（全員賛成）

Q 附則第8条で、地方税の改正により、免除対象飼育牛が2000頭から1500頭になることで税負担が増えるというのか。

A 町内で一番多い対象者は飼育牛で約800頭であり、今回の改正による該当者は現在のところいない。

一般会計補正

Q 杉水地区の防火水槽を撤去するということが、撤去後の水利はどうなるのか。

A 区長及び地元消防団と協議を行い、道路反対側の既設消火栓に対応する。

Q 町でパスポートを申請すると交付まで11日間を要するが、緊急の場合は従来どおり県パスポートセンターで行うことができるのか。

A 海外における親族の事故や病気の場合は、従来どおり県で発給される。

Q 大津町への震災の避難者は13人との報告を受けたが、子どもは何人含まれるのか。もし、幼稚園、保育園への入園希望者がいれば優先させるべきだと思うが。

A 子どもが4人含まれている。4歳の子が幼稚園への入園を検討されているということで、所管課とも連携を図りたい。

決算

Q 生活維持路線バスの現状はどうなっているか。また、230万円の補正の理由は何か。

A 利用者が10年前と比較して半減している。また、重油の高騰などにより、赤字額もふくらみ、補正をお願いした。

Q 広報おおづの印刷費が170万円程減額となった理由は何か。

A 編集機能付パソコンで、職員が広報原稿を直接編集できるようになったことや、全ページカラーを3分の2程度を一色刷りにしたこと減額となった。

Q 企業の現状は厳しいと思うが、大津町の現状はどうか。

A 昨年度は立地協定の締結が3件、設備増設等が6件、新規操業が1件となっている。用地物件の問い合わせでは、43件あり、傾向としては貸工場に関する問い合わせが多い。



中核工業団地（高尾野）



22年度 決算審査

総務

議会情報の発信強化

392万円

会議録の閲覧は議会事務局・おおづ図書館でできる。今後はホームページでの閲覧も検討していく。また、町民のみなさんに読みやすくわかりやすい議会広報を目指す。



菊池広域連合消防本部負担金

2億5452万円

不慮の事故や火災、災害等が発生しても、住民が安心して生活できる環境を整える。また、構成自治体による行革も必要とされている。



人づくりまちづくり事業 (大津まちおこし大学関係)

55万円

「まちづくり学部」には11団体が登録、「人づくり学部」では5学科の活動があった。今後は町民が関心を持つ新しいテーマも開設される。



振興計画策定事業

140万円

延べ10回にわたる策定審議会で後期基本計画が策定され、議会で議決、承認を行った。新たに「成果指標」を設定し、後期5年間の住民のみなさんに方向性が示された。



大津町振興総合計画

町民相談事業

300万円

多様化する住民のみなさんの身近な悩みや行政法律に関する相談が実施され、問題解決を図った。
法律相談件数 119件
合同相談件数 11件